



IEEE Nagoya Section

IEEE 名古屋支部

2012 年 事業報告

2012 年 会計報告

2013 年 事業計画 (案)

2013 年 予算 (案)

2013-2014 年度役員・理事 (案)

Section Bylaws

2012 年 12 月 1 日 (土)

I IEEE 名古屋支部 2012 年事業報告

1. 支部活動

Office・Secretary

- 1) JC 理事会および R10 理事会に Chair (R10 は Secretary) が出席し活動報告を行った。
- 2) Technical Tour Japan 2012(マイルストーン訪問ツアー, 2012 年 5 月)の名古屋地区来訪(5 月 23,24 日)を LMC(Lifetime Member Committee, Japan), JC に協力して、支部をあげて歓迎した。依佐美記念館, JR 鉄道博物館, トヨタ産業記念館などの見学への一般会員の部分参加を呼びかけ 1 組の参加があった。また, 徳川園でのレセプション(23 日)には, 支部関係者 6 名(支部役員 3 名含む)が出席した。
- 3) Nagoya Section の Bylaws を見直した。(2012/7/14 施行)
- 4) Chapter 設立に向けて Chapter Development Committee を立ち上げ新 Chair に大平孝(豊橋技科大)を任命した。新規 Chapter 設立準備を進めている。
- 5) 2013-2014 年度役員・理事選挙を実施した。
- 6) 会員からの IEEE 著作権問い合わせ等に対応した。

Member Advancement and Nomination Committee

- 1) 11 月 7 日支部の Senior Member に「Fellow 昇格ー挑戦へのお誘いー」を送付(別紙参照)
- 2) 11 月 7 日支部の Member に「Senior メンバへの昇格」案内を送付(別紙参照)
- 3) Fellow 昇格者について 2012 年度昇格者(2012.2 発表)はなかった。
- 4) Senior Member 昇格者 4 名を得た。

Membership Development Committee

- 1) 会員増, 学生会の活動の活性化につとめた。
 - (ア) 入会案内の配付による会員増
IEEE の入会申込書, ステッカーなどを IEEE 本部から受領し, 主に高専での広報活動時に紹介した。
 - (イ) 名古屋支部の学生海外派遣助成制度を各高専に紹介した。
 - (ウ) 入会案内を支部主催・共催・協賛・講演行事などで配付し, 会員増に務めた。昨年比 5.7% の増加があった。
- 2) IEEE 日本ディレクター IEEE ジャパン・オフィスの百武氏のインタビューに答えた。
- 3) 各種 IEEE からのウェブアンケート等に回答した。

Technical Activities Committee

- 1) 学術講演会, 研究会等の開催を積極的に進め, 当初目標の 20 件の企画(年内実施 17 件)を達成した。(別紙参照)
- 2) 2012 年 12 月 1 日の総会後に次期 Region 10 ディレクター 福田敏男 名古屋大学教授による特別技術講演会を開催した。
- 3) IEEE Milestone として, 明電舎による ZnO を利用した避雷器の開発を申請する方向で準備している。

Award Committee

- 1) 2011 年度電気関係学会東海支部連合大会の IEEE 名古屋支部 Student Award (学生奨励賞)

を9名(学生員3名)に授賞した。

- 2) 2012年度電気関係学会東海支部連合大会の実行委員会に参加し、昨年同様IEEE名古屋支部学生会員を優先的に表彰する方針で臨み、結果、学生会員3名をふくむ、IEEE Student Awardを9名の学生に授与する予定である。
- 3) 2012年度電気関係学会北陸支部連合大会の実行委員会に参加し、IEEE名古屋支部優秀論文賞の募集選考(応募2名)を行ったが、論文賞授与の基準を満たさなかったため、授与は見送ることにした。

Student Activities Committee

- 1) (Membership Development Committee と連携) IEEE 学生会の活発化に努め、名古屋大学、静岡大学 SB の活動の活性化を図った(別紙参照)。
- 2) 国際会議研究発表助成事業に16件の応募があり、選考の結果、受賞者10名を選定した。2012年度分の募集を行っている。
- 3) (Membership Development Committee と連携) 優秀学生賞を名城大学、中部大学および豊橋技術科学大で実施した(別紙参照)。

2. 支部会員数

2012年11月時点で会員数1,214名(LifeFellow+Fellow: 30, LifeSenior+Senior member: 62, Member: 920, GradStudent+Student member: 142, Associate member: 59)である。昨年の同時期に比して総数+66名(内訳 Fellow: -2名, Senior Member: +5名, Member: +70名, Associate Member: -8名, Student Member: +1名)と5.7%の増加である。(SAMIEEEによる)(詳細は別紙参照)

3. 役員会, 理事会

- 1) 第1回拡大役員会・理事会を2012年2月23日の17時より名古屋大学で開催し、2012年の支部活動全般のほか、Bylaws改訂、TTJ準備、国際会議助成について議論を行なった。
- 2) 第2回理事会を2012年7月4日にメール審議で実施し、Section Bylawsの改訂についての審議を行った。
- 3) 第3回拡大役員会・理事会を2012年10月13日の13:30より名古屋大学で開催し、2013-2014年度役員・理事選挙結果等の議題について報告・審議した。
- 4) 第4回拡大役員会・理事会をChapter代表者を交えて、2012年12月1日の14時半より名古屋大学で行った。

4. 学術講演会, 研究会等

2012年は主催3件、共催3件、協賛11件、計17件を実施した(別紙参照)

II IEEE 名古屋支部 2012 年会計報告

(2012年1月1日～12月31日)

別紙参照

III 2011-2012 年 IEEE Nagoya Section

役員・監事・常設委員会委員長・理事

◎役員・理事 (Officers, Section Executive Committee Members)

Chair 岩田 彰 (名古屋工業大学・教授)
Vice-Chair 廣田 哲夫 (金沢工業大学・教授)
Secretary 間瀬 健二 (名古屋大学・教授)
Treasurer 滝川 浩史 (豊橋技術科学大学・教授)

◎ 監事・理事 (Auditor, Section Executive Committee Members)

Auditor 石子 雅康 (豊田中央研究所)

◎ 常設委員会委員長・理事 (Standing Committee Chairs , Section Executive Committee Members)

Member Advancement and Nomination

清水 教之 (名城大学・教授)

Membership Development 所 哲郎 (岐阜工業高等専門学校・教授)

Technical Activities 村瀬 洋 (愛知工業大学・教授)

Student Activities 坂田 肇 (静岡大学・教授)

Award 三好 正人 (金沢大学・教授)

Chapter Development z 大平 孝 (豊橋技術科学大学・教授) (2012年8月より)

Past Chair 長尾 雅行 (豊橋技術科学大学・教授)

(参考) 支部 Chapter 役員 (各 Chapter の活動は別紙)

IEEE Antennas and Propagation Society Nagoya Chapter (APS)

Chair 菊間 信良 (名工大)
Vice Chair 桑原 義彦 (静岡大学)
Secretary 野口 啓介 (金沢工業大学)
Treasurer 飯塚 英男 (豊田中央研究所)

IEEE Magnetics Society of Japan Nagoya Chapter (MAG)

Chair: 岩田 聡 (名古屋大学)
Vice Chair: 井上 光輝 (豊橋技術科学大学)
Secretary and Treasurer: 加藤 剛志 (名古屋大学)

IEEE Microwave Theory and Techniques Society Nagoya Chapter (MTT)

Chair:	大平孝(豊橋技術科学大学)
Vice Chair:	伊東健治(金沢工業大学)
Secretary:	伊藤良輔(オートリブ株式会社), 平田晃正(名古屋工業大学)
Treasurer:	荻戸立夫(富山大学)
Technical Committee :	花澤理宏(豊田中央研究所)

IV IEEE 名古屋支部 2013年 事業計画

1. 支部活動

Office・Secretary

- 1) 名古屋支部における事業の活性化・充実をはかる。また、名古屋支部会員の一層の拡大を目指して広報活動を行う。さらに、IEEE Japan Council, IEEE他支部, 各Chapters, 関連学会との連携を進め、会員へのサービス業務の一層の充実に努める。
- 2) Chapter設立に向けて支援・働きかけを行う。
- 3) IEEE Milestoneの明電舎での新たな申請について推進する。
- 4) Fellow NominationとSenior Memberへのグレードアップの勧誘を行う。
- 5) IEEE 名古屋支部学術奨励賞の拡充を図り、新規の表彰について検討する。
- 6) Student Branch 設立に向けて働きかけを行う。

Member Advancement and Nomination Committee

- 1) Senior Memberに「Fellow 昇格ー挑戦へのお誘いー」、Memberに「Senior メンバへの昇格」案内を送付してFellow NominationとSenior Memberへのグレードアップを推進する。
- 2) 定期的に会員に呼びかけると共に、申請手順の周知を図る。特にSenior Memberへのグレードアップでは、支部推薦のReferenceは2名(通常3名)でよいことなどを積極的に伝える。
- 3) Senior Memberのグレードアップをより強力に促進するため、役員会でAPPLICATION/NOMINATION FORM FOR SENIOR MEMBER GRADEとSENIOR MEMBER GRADE REFERENCE FORMのひな形を作成しておき、その旨をMemberに伝える。また、NominatorやReferenceを見つけるのが困難なMemberに対しては、NominatorやReferenceの斡旋を行う。さらに、役員がNominatorかReferenceになることも考える。

Membership Development Committee

- 1) 既存Branch(名大, 静大)活動の活性化をはかる(SACと連携)
- 2) IEEE名古屋支部優秀学生賞の拡充をはかる。
IEEE会員調査によるプロモーションを行う。(SACと連携)
- 3) 入会案内の配付による会員増をはかる。
- 4) 高専専攻科のREP Listへの登録
- 5) Section Membership Development Plansを策定する。

Technical Activities Committee

- 1) 学術講演会, 研究会等の主催・共催・協賛・後援を積極的に進める。年20回を目標とする。
- 2) JC History Committee委員と連携して、Milestone申請を積極的に働きかける。

Award Committee

- 1) 電気関係学会東海支部大会学生奨励賞IEEE Student Awardを授与する。(Secretary, SACと連携)
- 2) 電気関係学会北陸支部連合大会の学生発表者を対象にIEEE名古屋支部優秀論文賞の募集を行う。北陸地区会員等を対象とする情宣を強化する。(Vice-chair, SACと連携)
- 3) 各大学優秀学生賞の普及に努める。(SACと連携)
- 4) 名古屋支部独自の Award (Nagoya Section 学術奨励賞 (仮称)) の新設を検討する。

Student Activities Committee

- 1) 名古屋大学, 静岡大学 SB の活動のさらに活発化させる。
- 2) 国際会議研究発表助成事業の実行・発展。
- 3) 各大学における卒業論文・修士論文における優秀学生賞の普及に努め, 賞状・副賞に関する支援を行う。
- 4) 他大学に SB 設立を働き掛ける。

Chapter Promotion Committee

- 1) 支部Chapter設立への働きかけと設立支援を積極的に行う。

2. 役員会, 理事会, 支部総会

- 1) 支部理事会/Annual Meeting (総会) を2012年12月1日に開催し, 2012年事業報告・決算報告, 2013年事業計画・予算計画を審議する。
- 2) 支部役員会・理事会は年3回程度の開催とし, 支部Chapter役員等を加えて拡大役員会・理事会を予定する。

V IEEE 名古屋支部 2013年 会計予算

(2013年1月1日～12月31日)

別紙参照

VI 2013-2014年 IEEE Nagoya Section

役員・監事・常設委員会委員長・理事(案)

◎役員・理事 (Officers, Section Executive Committee Members)

Chair	間瀬健二	名古屋大学・教授
Vice Chair	堀 俊和	福井大学・教授
Secretary	水野幸男	名古屋工業大学・教授
Treasurer	穂積直裕	豊橋技術科学大学・教授

◎ 監事・理事 (Auditor, Section Executive Committee Members)

Auditor 柘植憲治 日本ガイシ株式会社・技術部長

◎ 常設委員会委員長・理事 (Standing Committee Chairs , Section Executive Committee Members)

Member Advancement and Nomination Committee	松本 正	北陸先端科学技術大学院大学・教授
Membership Development Committee	遠山和之	沼津工業高等専門学校・教授
Technical Activities Committee	野口敏彦	静岡大学・教授
Student Activities Committee	中村圭二	中部大学・教授
Award Committee	高橋友一	名城大学・教授
Chapter Operation Committee	大平 孝	豊橋技術科学大学・教授

理事会選出理事

Past Chair	岩田 彰	名古屋工業大学・教授
Past Chair	長尾 雅行	豊橋技術科学大学・教授 (マイルストーン担当)

(参考) 支部 Chapter 役員 (各 Chapter の活動は別紙)

IEEE Antennas and Propagation Society Nagoya Chapter (APS)

Chair:	菊間 信良 (名古屋工業大学)
Vice Chair:	桑原 義彦 (静岡大学)
Secretary:	野口 啓介 (金沢工業大学)
Treasurer:	飯塚 英男 (豊田中央研究所)

IEEE Magnetics Society of Japan Nagoya Chapter (MAG)

Chair:	岩田 聡 (名古屋大学)
Vice Chair:	井上 光輝 (豊橋技術科学大学)
Secretary and Treasurer:	加藤 剛志 (名古屋大学)

IEEE Microwave Theory and Techniques Society Nagoya Chapter (MTT)

Chair:	大平 孝 (豊橋技術科学大学)
Vice Chair:	伊東健治 (金沢工業大学)
Secretary:	平田晃正 (名古屋工業大学)
Secretary:	分島彰男 (名古屋工業大学)
Treasurer:	荻戸立夫 (富山大学)
Technical Committee :	田中宏哉 (豊田中央研究所)

別紙一覧

1. 2012 年会計報告, 2013 年予算(案)
2. MANC 活動報告 : Fellow, Senior Member 勧誘レター
3. TAC 活動報告 : 学術講演会・研究会等の主催・協賛・後援
4. SAC 活動報告 : 学生会, 国際会議発表支援, 学生奨励賞
5. 支部会員数動静 :
6. 各 Chapter 活動報告 (APS, MAG, MTT)
7. Nagoya Section Bylaw



Technical Tour Japan の名古屋支部レセプション(徳川園)